

Kanie Interactive Smile Stationとは、「皆さんと一緒に笑顔でまちをつかっていくための発信基地」という意味です。



Kanie Interactive Smile Station

広報
かにえ



新しい出会いが皆さんを待っています！



今月号の表紙
ご卒業おめでとうございます！
(学戸小学校にて撮影)

平成22年度 蟹江町の財務4表
(普通会計比較)を公表します

- 4 平成24年度固定資産税の納税通知書発送時期と納期の変更のお知らせ
愛知県後期高齢者医療制度協定保養所利用助成事業／窓口業務の土曜日開庁について
- 5 子育て支援センターに遊びに来てね
- 6 おじゃましま〜す
- 7 あつまれ！広場
活き生きかにえスポーツクラブコーナーシリーズ須成祭
- 8 たのしさいっぱい児童館
- 9 Kanie Town Topics
- 10 Do！かにえ
かにえ・暮らしのガイド／歯の健康講座／ほっとステーション／まちなか交流センターに遊びに来てね／図書館からのお知らせ／海部地区今月のイベント／今月の休日診療(外科)／各種相談／海部地区急病診療所／水道／編集後記
- 16 カレンダー



海部地域「災害時における相互 応援に関する協定」締結について

2月20日(月)海部総合庁舎2階会議室にて津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町および飛島村は、「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。

近い将来発生すると危惧されている、東海地震、東南海地震、南海地震は、相当な被害も予想され、3連動で発生した場合にはさらに大きな被害が出ると思われます。こうした風水害や地震などの災害が発生した場合に、備蓄食料・資機材・車両・被災者の受入施設の提供などを相互に行い、迅速かつ、効率的な災害応急対策活動や地域住民の速やかな避難を可能にするために、海部地域4市2町1村の災害相互応援協定を締結しました。



海部地域「災害時における相互応援に関する協定」締結式

観光フォトコンテスト

四季のうつろい、文化財、まつりなど蟹江町を旅したくなる写真を募集した観光フォトコンテスト「蟹江町のこれが、私の自慢です」の表彰式が2月21日(火)に開催されました。

今回は、「風景部門」、「観光施設部門」、「行事部門」の3部門を設け実施しました。受賞された作品には、水郷のまちを全面に感じさせるものや美しい町並みなど、日常の何気ない場面を切り取ったほのぼのとしたものも多く感動する作品ばかりでした。

今回の受賞作品9点は、3月中旬まで役場ロビーに展示され、多くの人の目を引いていました。



受賞された皆さま、おめでとうございます！

『第5回観光フォトコンテスト作品』を募集中です
「蟹江町を訪れたくなる」そんな1枚をお待ちしております。
感動的なシャッターチャンスに挑戦してください。

締切り/8月17日(金)

テーマ/観光(蟹江町内で撮影したものに限りです。)

部門/桜部門、須成祭部門

サイズ/四切

応募点数/各部門1人1点

※詳細は3月1日付けで全戸配布済みの募集チラシまたは町観光協会ホームページをご覧ください。

問合せ/町観光協会事務局(ふるさと振興課内 内線441)

町内企業2社が 2012愛知環境賞を受賞しました

今回で第8回目となる「2012愛知環境賞」では、企業や団体などから48件の応募があり、蟹江町の企業2社が受賞し、2月15日(水)に表彰式が行われました。

【銀賞】株式会社加藤建設

(エコミーティング活動～地域に頼られる建設会社を目指して～)

建設工事を受注する立場の企業が、地域住民や発注者とともに環境に配慮した豊かなまちづくりのアイデアを出し合うなどの「エコミーティング活動」を実施していることは、これからの建設事業のありかたを示す先駆的なモデルであると高く評価されました。

【優秀賞】株式会社アンレット

(低圧ルーツブロワ利用によるエアブローの省エネ化)

低圧力でも従来の工場エアと同等以上のブロー効果が得られるブロワを開発した先駆的な取り組みは、省エネ法に定める基準の改正にもつながり、工場、事業場のエネルギーやコスト削減など、広く社会的に貢献したことが高く評価されました。



中学生海外派遣交流事業

2月25日(土)、平成23年度蟹江町中学生海外派遣交流事業の結団式が行われ、蟹江町の代表として選ばれた町内在住12人の中学2年生が、姉妹都市のアリゾナ州マリオン市へ派遣されました。

結団式では、生徒を代表して蟹江北中学校の高尾凌我さんが、「決意のこたば」を発表しました。



将来に役立つ経験に！

今回は、3月24日(土)から30日(金)までの日程で派遣され、マリオン市では、中学校の授業やホームステイなどを体験しました。言葉の壁はありますが、たとえ自信がなくても、笑顔で堂々と話せば気持ちは伝わります。

今後の国際化社会を担う中学生たちが一回りも二回りも成長して帰ってきました。

事業の詳細については、図書館に設置している「マリオンコーナー」をご覧ください。



派遣前に英会話研修を行いました。